

# 暴挙 厳しく糾弾

## 北朝鮮がミサイル発射

北朝鮮は11月29日、同国西部の平城から日本海に向けて弾道ミサイル1発を発射。北朝鮮の国営テレビは、「米本土を攻撃可能」と発表しました。



表しました。

繰り返される核実験と弾道ミサイル発射は、世界と地域の平和と安定にとって重大な脅威であるとともに、累次の国連安保理決議、6力国協議

共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙です。

日本共産党の志位和夫委員長は同日、「暴挙を厳しく糾弾し、抗議する」とともに「危機打開のための直接対話は急務」との談話を発表しました。

### 危機 打開へ 米朝の直接対話が急務

#### 軍事的解決策はない

ペリー元米国防長官「外交の不在や見境のない発言は、戦争に、非常に壊滅的な核戦争に突入する条件を醸成してしまいます。実行可能な軍事オプションがあるなら、私もそれを薦めるかもしれませんが、(実際のところ)そんな解決策はないのです」(「朝日」11月29日付より)

#### 戦争は絶対に回避を

談話では、「戦争は絶対に回避しなければならない」とし、米朝両国の直接対話が「いよいよ急務」と強調。「国際社会が一致結束して、経済制裁強化と一体に『対話による平和解決』に取り組むことが、北朝鮮問題を解決する唯一の方策である」とのべています。

日本政府に対しては『対話否定』『軍事力行使容認』の立場を改め、対話と交渉による解決のために外交的努力をはかることを強く要請する」とのべています。

日本共産党



「戦争アガン」のプラカードを掲げてアピールする「おおさか総がかり集会」の参加者。11月3日、大阪市北区

## 「戦争する国」にさせぬ

12月8日は、日本が朝鮮半島や中国への侵略に続き、マレー半島やハワイなどを攻撃、世界を相手に戦争を開始したアジア・太平洋戦争開戦(1941年)から76年です。日本が中国東北部で始め、15年に及んだ戦争は2000万人以上のアジア諸国民と300万人以上の日本国民の命を奪いました。憲法9条には、その

反省と「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように」(憲法前文)との決意が刻まれています。

安倍首相が叫ぶ9条改憲。その狙いは海外での無制限の武力行使に道を開くことです。再び「海外で戦争する国」にさせては絶対になりません。

日本共産党

近畿民報

2017年12月 No.2(第308号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を  
発表しました。